



# 生駒市役所における 生成系 AI 利用ガイドライン

令和 5 年 8 月 29 日版

生駒市デジタル推進課スマートシティ推進室

# 生駒市役所における生成系 AI 利用ガイドライン

## 1. ガイドラインの目的

---

本ガイドラインの目的は、生駒市役所職員による生成系 AI サービスの利用を安全かつ効果的に利用するための基本的な知識と手順を提供することにあります。

## 2. ガイドラインの対象

---

- 対象: 生駒市の職員
- 適用期間:実証実験期間中

## 3. 生成系 AI サービスについて

---

生成系 AI とは、新しいデータや情報を「生成」することを目的とした人工知能のことです。例としては、文章生成、画像生成、音楽生成などが挙げられます。このタイプの AI は、大量のデータを学習し、そのデータの特徴を捉えて新しい出力を生成します。

本ガイドラインが想定する生成系 AI サービス「ChatGPT」は、OpenAI が開発した大規模な言語モデルを用いたチャットボットです。言語モデルとは、単語とその並びを確率によって表したもので、多くのテキストデータの学習により、人間が自然と感じる回答(文章)を確率に基づいて生成することが可能です。

一方で、入力した情報が学習され第三者の回答に利用される可能性があるなど、入力する情報の内容や生成結果の利用方法によっては、法令違反や権利侵害に繋がる可能性があります。

また、生成系 AI が生成した情報は、最新の情報が反映されていない、偏った価値観に基づいている、そもそも事実と異なるなど、必ずしも全てが「正確」であるとは限りません。

本ガイドラインを通じて、生成系 AI の特性を理解し、正しく利用することで、生成系 AI の大きな可能性を業務に活用し、事務の効率化や行政の質の向上へつなげて行きましょう。

## 4. 生成系 AI サービスの利用方法

---

1. LGWAN 内の専用サイトにアクセスする。
2. 入力前に注意事項及び禁止事項を確認する。
3. 適切なテキストを入力し、生成を開始する。
4. 生成結果を確認し、利用する際は注意事項を考慮する。

## 5. 生成系 AI サービス利用の注意事項

---

- 第三者が権利を持つデータが含まれる場合があることに注意する
  - 理由: 生成系 AI は、多数のデータを学習しており、その中に第三者が権利を持つデータが含まれる可能性があるため。
  - 注意すべき利用例: 資料や報告書での AI の生成物をそのまま引用する。
  - 望ましい利用例: 生成物を参考にし、独自の文章や内容に編集・修正する。
- 元となる情報が古く、それ以降の情報を持っていないことに注意する
  - 理由: 生成系 AI が学習した情報が過去のものであり、必ずしも最新の情報を持っていないため。
  - 注意すべき利用例: 最新の法律や政策に関する質問を AI に行う。
  - 望ましい利用例: 生成系 AI による回答をもとに、最新の公式文書や専門家の意見を参照する。
- 生成物(回答)に偏見や先入観などが含まれる可能性があることに注意する
  - 理由: 生成系 AI が学習した情報は、必ずしも公平・公正な観点の情報であるとは限らず、何らかの偏見や先入観に基づく結果が得られる可能性があるため。
  - 注意すべき利用例: 社会的なセンシティブな内容や判断に関する質問を AI に行う。
  - 望ましい利用例: 生成系 AI による回答は、あくまで参考にとどめ、自ら多角的な視点で検証し、精査を行う。
- 職員(人間)が作成することに意味がある場面での利用に注意する
  - 理由: 特に配慮が必要な文書の作成には、不適切な結果が得られる可能性があるため。
  - 注意すべき利用例: AI に謝罪文や追悼文の作成を依頼し、そのまま利用する。
  - 望ましい利用例: 生成系 AI を利用せず、関係者や専門家の意見を取り入れて手作業で文書を作成する。
- サービス提供者が設定する独自ポリシーに注意する
  - 理由: 生成系 AI サービスの提供者は、利用に関する独自の規約やポリシーを設けている場合があるため。

- 注意すべき利用例: 生成系 AI サービスの利用規約に違反した使い方をする。
- 望ましい利用例: 生成系 AI サービス利用前に、サービス提供者の利用規約やポリシーを十分に理解した上で、適切に利用する。

## 6. 生成系 AI サービス利用の禁止事項

---

### 入力内容に対する禁止事項

- 個人情報の入力
  - 禁止される理由: 保有している個人情報を保護するため  
(個人情報保護法の規定等に違反する可能性があります。)
  - 禁止される利用例: 「生駒市〇〇町〇〇番地の田中太郎さんについて教えてください」。
- 機密情報の入力
  - 禁止される理由: 機密情報の流出を防ぐため。  
(秘密保持に関する規定などに違反する可能性があります。)
  - 禁止される利用例: 「以下の非公開会議の文字起こし結果を、要約して議事録を作成してください」。
- その他不適切な回答の生成を目的とした利用

### 結果の扱いに対する禁止事項

- 人の目によるチェックをせず、生成物(回答)を直接公式文書や発表に用いること
  - 禁止される理由: AI が提供する情報の正確性や適切性を保証できないため。
  - 禁止される利用例: 市の公式発表や文書に AI からの回答をそのままコピー & ペーストする。ただし AI からの回答をそのまま利用すべき特別な理由がある場合は、AI で生成したことを明記すること。

※ 生成系 AI が生成する情報は、正確ではない可能性があります。必ず、自分で情報を再確認するなど、正確性や適切性を担保するようにしてください。

## 7. ガイドライン運用の留意事項

---

- 本ガイドラインは定期的に見直しを行い、必要に応じて更新されます。
- 最新のガイドラインの確認と適切な利用を常に心がけることが求められます。